

■～NICUにおける母乳の使用について～

## NICUにおける母乳の使用について



母乳は、赤ちゃんにとってもっとも**重要な栄養**です。  
特に、NICUにいる赤ちゃんたちは**抵抗力・免疫力が弱い**ため、母乳はとてもよい栄養であるといえるでしょう。  
NICUに赤ちゃんが入院していても、赤ちゃんのために母乳を役立てることができます。

では、まず・・・母乳って、何がいいの？

### 母乳の利点

NICUにおいては、疾病予防における母乳の重要性は他のいかなるものより大きいのです。また、早産児は成長するため、そして、疾病を克服するためにも母親の母乳の一滴一滴が必要なのです。

- ◎ 母乳は、人工乳に比べてタンパク質の粒が小さいので、胃の粘膜が弱い赤ちゃんにとって、より**消化・吸収が最適**。
- ◎ 母乳の中にあるタンパク質が、腸管からの鉄分の吸収をよくし、大腸菌の繁殖を抑え、ビフィズス菌などの**善玉菌を優勢**にします。
- ◎ 早産児を出生した母親の初乳(出生後2～3日の間に分泌される)は独特であり、分泌量こそ少ないのですが、**抗感染性物質・抗炎症性物質などを高濃度**に含んでいます。赤ちゃんの口から入り、胃や腸の粘膜に広がることで、細菌やウイルス、アレルギーの原因となるタンパク質の侵入が妨げられます。
- ◎ 母乳にはタンパク質のほか、脂肪分、乳糖、ビタミン類、ミネラル、塩分、ホルモン、酵素と、赤ちゃんが成長発達していくのに必要なものが全て適量に含まれています。また、よりタンパク質や電解質が不足しがちな早産児にとっては、より**タンパク質や電解質が豊富**な早産児を出生した母親の母乳が最適なのです。
- ◎ 母乳に含まれている塩分が、緑黒色で粘稠性が高い胎便の排出を助けます。(胎便栓の予防)



次に・・・搾った母乳はどうなるの？

### NICUでの母乳の使い方

- ① 3時間毎の赤ちゃんのごはん  
NICUでは**約3時間**ごとにごはんの時間があります。お母さんたちが搾ってくれた母乳が少しでもあれば、赤ちゃんに届けてあげることができます。
- ② マウスケア  
まだお口から飲むことができない赤ちゃんでも、綿棒に母乳を浸しておしゃぶりをするように吸わせてあげることができます。これによって、赤ちゃんのお口のなかの常在細菌を増やしてあげることができ、**免疫がアップ**します。



### 母乳の運搬方法

- ① 院内でご出産された場合  
お母さんには、3時間毎の赤ちゃんのごはんの時間に間に合うように搾乳して頂き、**新鮮な母乳**を病棟スタッフがお預かりし、NICUへ届けています。  
また、ご面会時間は赤ちゃんのそばで搾乳をして頂くこともできます。



- ② 退院後・院外でご出産された場合  
お家に帰られてからは、搾乳した母乳を**専用のパック**に入れ、**冷凍**させたものを持ってきていただくことになります。**冷凍母乳は3～4週間保存が可能**です。  
お持ち頂いた冷凍母乳は、NICUの冷凍庫に保存し、毎日必要分を解凍して赤ちゃんへ届けます。お持ち頂いた母乳の使用状況を知る目安として、NICU入口におっぱいノートも置いています。母乳の冷凍・運搬方法に関して記載した用紙もお渡ししています。詳細はNICUスタッフにお尋ね下さい。



お母さんからの栄養と愛情がいっぱい詰まった母乳を、スタッフ一同、大切にお子様の元へ届けさせていただきます。

